令和３年度　外国語　授業改善推進プラン

大田区学習効果測定　結果の分析

○ 問題の内容別正答率では、６年生は７項目において目標値を上回った。
○ 領域別正答率では、６年生は３領域中３領域において目標値を上回った。
○ 観点別正答率では、６年生は３観点中３観点において目標値を上回った。

	全体	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	81.6	81.8	79.3	82.3
校内平均正答率	83.7	84.4	80.6	84.4
ポイント差	+1.9	+2.6	+1.3	+2.1

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
６年生は目標値を上回った。 単語の意味理解の正答率が非常に高く、十分に定着している様子がうかがえる。しかし、アルファベットの読み書きにおいては目標値を下回る項目があり、他の項目に比べて課題がある。	６年生は目標値を上回る結果となった。 英文の完成においては目標値を上回る反面、対話を聞いて目的や状況、場面を推測することにおいて課題が見られた。	６年生は目標値を上回る結果となった。 英作文の中でも人物の性格を表す作文は目標値を大きく上回るが、できることを表す作文が目標値を大きく下回り、課題として残った。

課題<今回の調査結果から>

〇活字体の読み書きに慣れていない傾向が見られる。似ている文字を比べて違いに気付かせるなど、文字の特徴の視点を与えてから書く活動場面を増やすようにする。
〇日常会話に関する対話において、目的や場面、状況などを推測する力に課題がある。何を聞き取ればよいかを事前に意識してから、聞き取りに臨むよう指導していくようにする。